

(1) 地域の概要

鞍馬二ノ瀬町地区は、自然豊かな山の中にあり、四季折々の風景を満喫することのできる集落です。歴史も深く、古くから林業が生活の糧となり、祭事などでも山の木を使った「お火焚祭」などが行われ、木と山が生活の中心となっていました。また、市内中心部への公共交通機関でのアクセスが容易であり、「都会で働いて、自然の中で暮らす」という生活が実現できる集落でもあります。

当地域は市街化調整区域に位置し、豊かな自然環境に恵まれた地域ですが、その一方で、人口減少や少子高齢化、空き家の増加などが進行し、二ノ瀬ならではの豊かな自然と暮らしの維持・継承に向けて大きな課題となっています。また、当地域の広範が土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に指定されており、自然災害のリスクも抱えています。

このような状況を踏まえ、当地域では令和3年10月に、地元有志で構成する「二ノ瀬の今を考える会」を設立し、タウンミーティングなどを通じて、地域課題の共有や今後のまちづくりの方策など、検討が進められてきました。これらの検討を経て、令和5年12月に、今後のまちづくりの方向性を取りまとめた「二ノ瀬まちづくりビジョン」が策定されました。



(2) 地域の将来像

① まちづくりの理念・基本的な考え方

「皆の力で守り育てる、節度ある営みと豊かな暮らしがあふれる二ノ瀬」

都会の喧騒から離れた自然豊かな環境を守り、安心して良好な住環境を育て続けることで、節度ある営みと豊かな暮らしがあふれる住宅地としての二ノ瀬のまちづくりを目指します。

② 地域の目標・将来像

二ノ瀬が豊かな自然に囲まれた小さな集落であることをいかし、次のような豊かな生活を送ることができる「住宅地としての二ノ瀬」を目指します。

節度ある営みと
豊かな暮らしがあふれる

素晴らしい住宅地
『二ノ瀬』

「皆の力で守り育てる」

- ①健康で文化的な生活
- ②安全で安心できる生活
- ③集落内外の円滑な人間関係
- ④豊かな自然を満喫できる日常生活
- ⑤持続可能な地域生活

(3) 地域のまちづくりの方針

「節度ある緩和」を基本方針とし、「無理なく続けるための5つの心得」、「安全で安心な生活のための注意点」を大切にしながら、豊かな自然の中で、安全で安心できる住宅地としてのまちづくりを進めていきます。

○ 節度ある緩和（まちづくりの基本方針）

①豊かな 自然環境を守る	<ul style="list-style-type: none">・ 集落内の建築や開発が可能な場所を地区計画の区域に指定する。・ 地区計画の区域外における土地や山林は、これまでと同様に豊かな自然を守っていく。・ 草刈りや清掃などの集落内の生活環境の維持活動を通じて自然を守る。・ 風致地区条例や自然風景保全条例を「自然環境を守る基準」とし、条例の周知を行う。・ 鞍馬山風致地区の草木や動物など、二ノ瀬の自然の恵みを再認識し、「豊かな自然環境を守る人」を育てる。
②安心して良好な 住環境を守る	<ul style="list-style-type: none">・ 住環境を守るうえで、「住宅地としての二ノ瀬」をまちづくりの基本とする。・ 安心して良好な住環境を育てるため、店舗部分の面積制限など、地区計画により建物の用途を制限する。・ 道路交通の問題が発生しないよう駐車場等のスペースの確保を促す。・ 二ノ瀬の日常生活とは無縁な建築資材等の物件の堆積がなされないよう注意を促す。・ 住民の不安となる脱法的な民泊行為や建築行為に対して注意を促し、行為発生時にはしっかりと対応することで、安心して良好な住環境を守る。・ 災害に対する備えを怠らず、災害発生時に地域住民の連携などによって、避難などの呼びかけや助け合いで人的な被害を防ぐことのできるコミュニティを目指す。・ 車や人の往来の危険にならないよう、庭木の管理に気をを使う。・ クラブ活動のような草の根レベルでの活動を通じて、楽しみながら安心して良好な住環境を守る。・ 防犯防災の活動を通じて、将来発生する可能性がある事件や事故、火災や倒木等の発生を未然に防ぐよう努める。
③移住・定住、 世代交代のしやすい 環境を育てる	<ul style="list-style-type: none">・ 属人性を問わず住宅を建てられるようにすることで、移住・定住、世代交代をしやすい環境を育てる。・ 地域ごとの道路状況などの特性に応じて、店舗兼用住宅や近隣の山林の恵みを活用できる集荷場などを建築できるようにする。・ 集落の人口増に寄与しない単独店舗は制限する。・ 二ノ瀬の文化、自然豊かな風景を守り、地域としての魅力の底上げを図る。・ 有効な空き家対策を行い、移住・定住を促進し、人口減少に歯止めをかける。・ 二ノ瀬の情報を移住希望者、在住者ゆかりの方に配布し、移住や世代交代を促す。・ 誰もが参加しやすい小さな町内会を目指し、ゆるい田舎暮らしができる二ノ瀬を目指す。・ クラブ活動のような草の根レベルでの活動を通じて、二ノ瀬で生活する楽しみを外部に伝えていくことで、「二ノ瀬に住みたい」「住み続けたい」という人が増えていく環境をつくる。

○ 無理なく続けるための5の心得（二ノ瀬流のレジリエンス）

① たのしく（心掛）、② かるく（安心）、③ つながり（共有）、④ はぐくみ（尊重）、⑤ つづける（継続）の二ノ瀬流レジリエンスでこれからも自然、文化、歴史、営みを紡いでいきます。

○ 安全で安心な生活のための注意点（不断の努力）

- ① 何事も安全第一、災害時の避難方法と避難時の連絡先を常に確認できる状態に
- ② 渋滞の発生、救急や消防などの緊急車両の邪魔になる路肩駐車をしない
- ③ 車や人の往来の危険にならないよう、庭木の管理に気をを使う
- ④ 焚き火をする際は、必ず消防に連絡を入れる
- ⑤ 道路や河川などの小さな気づきが大きな災害を防ぐこともある